



NPO 法人 京都観光文化を考える会

都草だより

第26号
 発行人：坂本孝志
 編集人：西野嘉一
 発行所：京都市上京区
 下立売通新町西入
 京都府庁旧本館2階
 電話：075-451-8146

第 11 回 都草文化交流会 ～ 京都市無形文化財指定「花背松上げ」鑑賞報告 ～



8月15日の花背の松上げは、参加していただいた皆様と一緒に楽しみ、たくさんの思い出を作ることができました。そして無事に終わりましたことに感謝しています。振り返れば、今回の行事を企画した時には「何人の方が申し込んで頂けるのだろうか」「お盆でそれぞれ予定もあることでしょうし」「夜の行事に参加してもらえるのか」など、マイナスのことばかりが浮かんできても不安でした。募集を始めると、思ったより早く定員になり企画に熱が入りました。今春から会議と下見を重ね、計画を進めてきました。「夕方の行事にどうして昼から行くの?」と思われたことでしょう。この伝統行事をただ見物するだけではなく、火祭の歴史とその生活を

少しでも体験していただきたく、3つのオプションを企画しました。「山歩き」に参加された方には山の現状をお話いたしました。「魚つかみ」の方には生きている鮎を自分で捕まえて食べ、生き物の命を頂いていることを実感していただきました。「お風呂」希望の方は窓から自然の景色を楽しみながら木の香りが残っている湯船で寛いでいただきました。少しの時間でしたがここが京都市左京区であることを忘れ、異空間を満喫していただけたことと思っています。都草ならではの行事として楽しんでもいただけたらこんなに嬉しいことはありません。

私の今後の課題として、この行事の発祥といわれている愛宕信仰との関係や火が表している民俗的な性格について、文献等を調べて明らかにしてゆく必要があると考えています。会員の皆様のお知恵をお借りしながら進めたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

(会員 久山 多代子)

今回は久山会員が中心になって企画運営していただきました。(文化交流部会より)



◆◆ 美化活動部長就任の紹介 ◆◆



都草の美化活動部長 藤野淳士様が3月9日にお亡くなりになられたことは大変残念ですが、第1回からの功績に感謝しております。経験の浅い私が後任として受継ぐことになりました。第35回から美化活動に参加して、皆様が熱心に清掃活動をしながらか歴史文化を学ばれている姿に感動しています。京都生まれの東京育ち、改めて京都の素晴らしさに気付きました。歴史探訪会・研究発表会にも積極的に参加して都草の一員として奉仕の精神に尽していきたいと思ひます。都草の認知度も高まり清掃の継続、依頼の社寺が増えてきました。月一回の定例ミーティングをメンバー10名で明るく楽しくコミュニケーションを得て、地域性歴史性を考えながら計画を進めております。会員の皆様も気楽に健康的な美化活動に、より多くの参加をお待ちしております。(会員 石崎 良暉)

◆◇ 伏見深草支部副支部長の紹介 ◇◇



その日、支部長の森さんがやけに雄弁でした。自分は町内の役などが重なってとても忙しいこと、そして、〇〇さんは仕事で無理だし、〇〇さんは他の役をしてるのでダメだし等々、長い前置きの後、「安田さん、副部長をお願いしたいんです」と言われました。顔を合わす度に「仕事はいつまでですか」とよく聞かれたのは、このためだったのかと思ひ当たりました。私は生来なまけもので、おまけに“役”が嫌いなのです。都草の行事には、バス旅行と忘年会くらいしか参加していませんでしたので、仕事を辞めたら何かに参加をしようとは思っていましたが、それは“役”ではないのです。でも、「電話連絡をするくらいやし」と森さんから軽く言われ、気が付いたら首を縦に振っていました。「電話連絡だけですよ」と、いつも森さんの背中につぶやいている私です。(会員 安田 富枝)

◆◇ 歴史探訪会東部部長就任の紹介 ◇◇



この度歴探東部部長をお引き受けするにあたり一言自己紹介いたします。私は中国の青島生まれ大阪育ちですが、人生の第 3 コーナーを廻ったところで、たまたま妻の実家が東福寺の境内にあったことから京都に住みつき早くも 15 年が過ぎました。「住めば都」と言いますが「私には住み始めた時から都」。京都の街はどこをほつつき歩いても何らかの歴史にぶつかります。そして同じ場所で複数の出来事の舞台となるような場所は他の地域のどこを捜してもないでしょう。このような街で都草発足のかかなり早い時点で会員となり、歴史好きの多くの仲間と知り合いになれたことはこの上もない好運でした。東部のメンバーとしての活動は、準備から反省会まで苦労もありますが、気心の知れた仲間と過せてこれた事は望外の喜びで、これはひとえに前任者福井部長の人徳のなせるワザと感謝しきりです。私も負けじと頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご協力とご支援を切にお願いする次第です。

(会員 武富 幸治)

◆◇ 歴史探訪会東部副部長就任の紹介 ◇◇

都草が会員相互の研鑽に熱心であることに惹かれて入会しましてより 7 年近くが経ちました。入会早々、歴史探訪東部会の仲間に入れて頂きました。歴史探訪会の準備作業は福井名部長のリードの下、賑やかで何とも楽しいものですが、懸案は当日の説明担当です。何しろ専門家はだしの知識を持った猛者揃いの都草のこと、その方達に耳を傾けて頂ける説明をと下調べに力が入ります。それだけに当日の出来不出来は別として、無事終了後の爽快感は格別です。



このような気持ちで気楽に参加させていただいておりましたが、今回福井部長が本部役員との兼任は難しいとのことで、武富新部長の下、広瀬さんと私がサブを・・・ということになりました。今迄のようにあなた任せではいかず、ことの重大さに愕然としております。汲めども尽きせぬ多くの知識をお持ちの武富新部長に寄りかかりつつ、広瀬さんと一緒に協力して「格調高く？楽しい」東部会の伝統を守っていけますよう、微力ながら努力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(会員 大谷 芙美子)

都草創立当初から歴史探訪会に参加させて頂き、50 回記念を迎えた今年に東部の副部長をお引き受けすることになりました。部長の武富さんの足を引っ張らないように頑張りたいと思っております。

発足当初から比べると、会員数もずいぶん多くなり、皆様の探訪会への思いも、「知らないところに行けるから」「勉強になるから」「もう一度行きたいから・・・」と、様々です。その中でも一番うれしいのが、「楽しいから」というお声を聞くことが出来る事と、多くの方々が参加していただく事です。部員一同、色々と頭を悩ませて行き先を考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。(会員 廣瀬 俊子)